

／みるべえく／

31

地域おこし協力隊



やるべきこと、
やりたいこと



年の瀬になりました。やるべきこと、やりたいことは多いのに時間がありません。でも、やりたいことが沢山あるのは良いことだと思おうようにしています。

農的な仕事は結果が出ないのが逆に原動力になっており、諸先輩や専門家の方のご意見を聞き、もっと力を入れて行きたいと思っております。木に係ることは間伐と搬出、そして道志の木を使ったクラフトを冬期に地道にやっつけていこうと思えます。

任期は来年7月末まで、今年度のふりかえりをしつつ、最終年の計画を立てようと思えます。

(千々輪岳史)

10月31日と11月1日に行われたD-1グランプリに出店しました。今年「七里太鼓」をモチーフにした「七里太鼓カフェオレゼリー」を商品開発し、参加させてもらいました。1日目は曇り空に加えて、風も吹いていたので、寒くてなかなか売れませんでした。2日目は太陽も出てきたおかげでお客様も増え、何とか完売することが出来ました。食べ



ていただいた皆さんありがとうございます。道志村の名所をモチーフにした商品開発は、「道志村に来た時に必ず買って帰るようなお土産になってくれれば」という思いでアイデアを出しています。これをきっかけに新しい商品が道志のお土産になってくれることを願っています。今回もD-1グランプリで優勝は出来ませんでした。これからもアイデアを練り続けていきたいと思えます。

(井口陽介)

移住に必要なこと



先月、道志村田舎暮らし推進事業として「横浜市民ふるさと村どうし見学ツアー」が開催されました。当日は40名ほどの横浜市民の方々が道志を訪れ、水源林や村内の見学、イベントを楽しんでいただきました。またツアーのなかには希望者向けに「道志の暮らし意見交換会」という時間があり、参加者の方々の疑問や意見を伺い、田舎暮らしについて率直にお答えしようという内容でした。

出された意見のおおよそは「移住にはまず家と仕事の用意」というものでした。たしかにその通りと思いましたが。しかし仕事は能力や好みによって人さまさまであるため、用意も簡単ではありません。一方で家は規模の大小はあれど比較的用意しやすいのではないかと思います。山梨は全国空き家率一位という嬉しくない順位です。それでも裏を返せば住めそうな家がすでにたくさんあると捉えられます。空き家という資源をどう活かすかが急務だと改めて思いました。

(中嶋拓哉)

10月27日に男の子が産まれました。難産で心配しましたが、無事に生まれて



本当に嬉しいです。赤ちゃんは可愛いですね。名前は、当初、眞渡(まと)を予定していましたが、大変な出産を乗り越えて出てきてくれた事に感謝して、的(まと)にしました。的を射て、的中するような力強さと、出産前にお参りしたの様(室久保川にある的に似た模様の岩)にあやかっていきます。近いうちに妻と的んと3人での様へお礼に行きます。

(大野航輔)

道志手帖第10号ができ



と一緒にお手元に届いていると思えます。今号の特集は「人と木」。何気ない風景のなかにある、道志の人と木のエピソードを取り上げました。「突撃取材ぬまよし」の記事もどうぞお楽しみください。また、道志手帖は次号で、現協力隊のメンバーでつくる最後の号になります。最終号(来年3月発行)ではこれまでの協力隊の活動を振り返り、報告し、今後の展望をお伝えします。(香西恵)